

|     |
|-----|
| 別 表 |
|-----|

別表 1

機関誌・図書の刊行

(1) 冊子版「航空と文化」No.115、116号目次

|   |  |
|---|--|
| 115号 (夏季号)  |  |
| <p>特集 日本のLCCの現状と将来展望・戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『空飛ぶ電車』Peachの挑戦<br/>Peach Aviation 株式会社代表取締役CEO 井上慎一</li> <li>・ローコストキャリアの挑戦ーバニラエア<br/>バニラ・エア株式会社代表取締役会長 石井知祥</li> <li>・ジェットスター・ジャパンの戦略と展望について<br/>ジェットスター・ジャパン株式会社代表取締役会長 片岡 優</li> <li>・最近の民間エンジンの特徴と技術動向<br/>株式会社IHI 航空・宇宙・防衛事業領域民間エンジン事業部副事業部長<br/>西川秀次</li> <li>・ブライトリングDC-3ワールドツアー フランシスコ・アグーロ機長にインタビュー<br/>日本航空協会</li> <li>・2017 青少年航空宇宙絵画国際コンテスト (2017FAI ヤングアーティストコンテスト<br/>国内予選) 日本航空協会</li> <li>・一般財団法人日本航空協会<br/>平成28年度事業報告および平成29年度事業計画 日本航空協会</li> </ul> |  |
| 116号 (新春号)  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・新年のご挨拶 日本航空協会会長 野村吉三郎</li> <li>・宇宙輸送の次のゴール<br/>宇宙科学研究所 稲谷芳文</li> <li>・H145//BK117 D-2 型ヘリコプタの設計変更概要 川崎重工株式会社<br/>航空宇宙カンパニー技術本部第一ヘリコプタ設計部基幹職 牛丸義晶</li> <li>・宇宙を、人類の生活圏に<br/>株式会社ispace 代表取締役&amp;ファウンダーHAKUTO代表 袴田武史</li> <li>・戦後の航空機開発と技術の伝承を再検証するー何を教わり、何を学び、何を残すか？ー<br/>日本航空宇宙学会名誉会員／(元)日本航空機開発協会常務理事 鳥養鶴雄</li> <li>・平成29年度「空の日」 航空関係者表彰式 日本航空協会</li> </ul>   |  |

(敬称略)

(2) WEB版「航空と文化」

| 掲載日        | タイトル         | 執筆者  |
|------------|--------------|------|
| 2018. 3.15 | リチウム電池と危険物輸送 | 木下達雄 |

別表 2

航空スポーツ団体の活動状況

(敬称略)

2017年航空スポーツ団体別活動状況

2017年12月31日現在

| 日本気球連盟 (NKR)   | エクスペリメンタル航空機連盟 (EXAL)  | (公社)日本航空機操縦士協会 (JAPA)  | (公社)日本滑空協会 (JSA)  | 日本模型航空連盟 (JMA)   | (公社)日本ハンド・パラグライディング連盟 (JHF)   | (NPO)日本マイクロライト航空連盟 (JML)   | 日本パラモーター協会 (JPMA)  | ★パラシューティング 2006年以降国内練習団体   |
|--|--|--|---|--|---|--|--|--|
| <p>熱気球<br/>ガス気球</p> <p>1,501人</p> <p>NKR個人、家族、法人会員として登録された人数</p>                                       | <p>自作航空機<br/>・固定翼機<br/>・ヘリコプター<br/>・ジャイロプレーン<br/>・人力航空機</p> <p>約100人</p> <p>EXALへの加盟クラブ数からの推定人数</p>  | <p>飛行機<br/>(ツェッペリン(ゼーペリン))<br/>ヘリコプター<br/>(ローコプター)<br/>曲技飛行<br/>(エアロパティックス)</p> <p>674人</p> <p>JAPA会員(約249名)のうち自家用操縦士数からの推定人数、飛行機・回転翼機・滑空機からの推定人数</p>              | <p>滑空機<br/>(グライダー)<br/>動力滑空機<br/>(モーターグライダー)</p> <p>507人</p> <p>JSA会員のうち個人会員の合計人数</p> | <p>模型航空機<br/>・ゴム動力機<br/>・エンジン機<br/>・電動機<br/>・グライダー<br/>・ヘリコプター他<br/>・模型ロケット<br/>・マルチローター<br/>(ドローン)</p> <p>6,674人</p> <p>JMAの正会員及び准会員の合計人数</p>                           | <p>・ハンドグライダー<br/>・パラグライダー<br/>(補助動力付を含む)</p> <p>7,498人</p> <p>JHF正会員の人数の内訳<br/>ハンドグライダー 750人<br/>パラグライダー 6,748人</p>                                     | <p>マイクロライト<br/>(超低重量機)<br/>・軽面機縦型<br/>・体重移動機縦型<br/>・パラシューティング型</p> <p>564人</p> <p>JML会員登録者数</p>                                      | <p>・パラモーター<br/>(RPF1、RPF2)<br/>・パワードハンドグライダー<br/>(RWF1、RWF2)</p> <p>955人</p> <p>JPMA会員登録者数</p>   | <p>パラシューティング<br/>・アキユラシー<br/>・フォーマーション<br/>・スカイダイビング<br/>・フリースタイル<br/>・フリーフライト</p> |
| <p>約7,000人</p> <p>全国の気球クラブ数や大会等の参加者数からの推定人数</p>  | <p>約300人</p> <p>個人所有が主なので機体数からの推定人数、鳥人間コンテスト出場者数を含む</p>  | <p>約700人</p> <p>第2種航空身体検査受検者からの推定人数(飛行機・回転翼機・滑空機)</p>  | <p>約3,000人</p> <p>全国の現在活動している団体、クラブ所属者からの推定人数</p>                                     | <p>約80,000人</p> <p>模型の売上からの推定人数</p>  | <p>約30,000人</p> <p>過去からの更新・新規登録による推定人数</p>  | <p>約1,500人</p> <p>国土交通省への登録機数からの推定</p>   | <p>約4,000人～5,000人</p> <p>過去からの登録機数より推定人数</p>   | <p>—</p>   |
| <p>396機</p> <p>上記は有効機体登録数。気球連盟への累計機体登録数は1569機</p>  | <p>約200機</p>   | <p>不明</p>  | <p>約300機</p> <p>国土交通省への登録機数は650機</p>  | <p>不明</p> <p>機体個別の登録制度なし</p>   | <p>不明</p> <p>安全性委員会への型式登録数(累計)<br/>・ハンドグライダー 377機<br/>・パラグライダー 1,407機</p>   | <p>約1,500機</p> <p>国土交通省への登録機数<br/>・軽面機縦型 1,100機<br/>・体重移動機縦型 330機</p>  | <p>不明</p>  | <p>—</p>   |
| <p>熱気球日本選手権(10～11月佐賀) 37名エントリー<br/>FAI Gordon Bennett(9月スズカ)【FAICATI】 13ヶ国21機エントリー<br/>日本より1台エントリー</p> | <p>【エアロパティックス】 ISMの試験飛行許可を受ければ、JFA登録や無届局開設に進むため第三者賠償航空保険につき保険会社数社に問い合わせたが、引き受けられないとの回答あり。<br/>【人力航空機】 鳥人間大会(7月滋賀県)滑空機部門には22機出場。飛行距離400mを超える機体もあり近年出場機全体の性能向上が著しい。また、2～3チームが日本記録を目指して機体製作中。</p> | <p>【飛行機】 Red Bull Air Race(6月千葉)産屋敷選手権(シズカ)最終順位17位<br/>【ヘリコプター】 活動停滞。<br/>【曲技飛行】 各拠点で個人的に活動。曲技飛行競技講習会の開催を模索中。<br/>滑空機曲技世界選手権に酒井選手を推薦したが、使用機に問題が生じたためエントリー取りやめ。</p> | <p>FAI滑空世界選手権(11月オーストラリア)【15mクラス】 市川選手2/35位<br/>優勝はSebastian Kawa(ポーランド)</p>          | <p>日本選手権大会 F3B中止。F1A不成立。<br/>世界選手権大会 F3A: 吉田氏が世界選手権を優勝。F3C: 運搬を統括していた伊藤氏は2位に。</p> <p>模型翼型空体<br/>中国製の空体な輸入製品の増加により、国内メーカーの下向傾向。<br/>模型航空機競技全体<br/>競技者全体の高齢化。競技者が減少傾向。</p> | <p>MPCのイット向けの安全セミナーと滑空機実演を開催。(7月尾道市)他8箇所で開催。<br/>PG安全セミナーを開催。<br/>【ハンドグライダー】 日本選手権(9月茨城)、ワールド選手権(8月アラブ)開催。<br/>【パラグライダー】 日本選手権(9月茨城)、ワールド選手権(8月アラブ)</p> | <p>2017年の2大テーマは「安全」と「無事故防止」としたが、4件事故発生。(内、死亡事故1件)<br/>正会員数は、高齢化により苦戦したが、新規会員と復活会員の動員努力により退会者数をかき消して安全講習会を空の日期間補助事業と合わせて各アワードを受賞。</p> | <p>日本選手権(9～10月新潟)を70名規模で開催。同時開催のFLY&amp;FUNでは3名の女性も活躍。<br/>ベテラン愛好者による重大事故(墜落/着水・死亡)が続いて発生。<br/>既存の滑空機強化方法に改善点が見いだされたため、広く注意喚起を促し直しが急務。</p> | <p>2017年5月<br/>騎手育成会に1台、7台が強化選手が活躍</p>   |

別表3 競技会の実績

(1) 日本で開催したFAI国際競技会 (FAI Category I、II ※日本選手権を除く)

| 種 目 (名 称)                                      | 選手権者名                | 開 催 日               | 場 所           | 参加国/数 | 日本人成績 |
|--|----------------------|---------------------|---------------|-------|-------|
| 1. ハング・パラグライダー<br>East Japan Championship 2017 | 総合 砂間 隆司<br>女子 磯本 容子 | 2017. 10. 06<br>～09 | 茨城県<br>石岡市    | 46名   | -     |
| 紀の川スカイグランプリ2018<br>(FAI Category II)           | 総合 大門 浩二<br>女子 佐野 容子 | 2018. 02. 09<br>～12 | 和歌山県<br>紀の川市  | 51名   | -     |
| 2018板敷山スプリングフライト                               | 総合 鈴木 由路<br>女子 佐野 容子 | 2018. 03. 21<br>～25 | 茨城県<br>板敷山エリア | 45名   | -     |

(2) 公認した日本選手権

| 種 目 (名 称)   | 選手権者名                  | 開 催 日               | 場 所                          | 参加数             |
|---|------------------------|---------------------|------------------------------|-----------------|
| 1. 熱気球<br>平成29年度(第34回)<br>熱気球日本選手権                                      | 上田 諭                   | 2017. 11. 01<br>～05 | 佐賀県佐賀市                       | 37機             |
| 2. 模型航空機<br>F1A フリーフライト・グライダー<br>F1B フリーフライト・ゴム動力機<br>F1C フリーフライト・エンジン機 | 不成立<br>小我野 光博<br>関澤 一雅 | 2017. 11. 04<br>～05 | 千葉県旭市                        | -名<br>20名<br>6名 |
| F1D フリーフライト・室内機   | 木原 一正                  | 2017. 10. 21<br>～22 | 長野県松本市<br>やまびこドーム            | 15名             |
| F2B コントロールライン・曲技  | 能米 昭一郎                 | 2017. 9. 08<br>～10  | 岐阜県高山市<br>飛騨エアパーク            | 45名             |
| F3A ラジオコントロール・曲技  | 音田 哲男                  | 2017. 08. 23<br>～27 | 富山県黒部市<br>新川RCクラブ 飛行場        | 39名             |
| F3B ラジオコントロール・<br>グライダー   | 開催中止                   |                     |                              | -名              |
| F3C ラジオコントロール・<br>ヘリコプター  | 伊藤 寛規                  | 2017. 10. 05<br>～08 | 栃木県宇都宮市<br>宇都宮RCクラブ<br>岡本飛行場 | 42名             |
| F3D ラジオコントロール・<br>パイロンレーシング   | 大槻 篤志                  | 2017. 09. 09<br>～10 | 三重県伊賀市<br>K F C 飛行場          | 16名             |
| F3J ラジオコントロール・<br>手曳航グライダー  | 天田 政浩                  | 2017. 05. 12<br>～14 | 埼玉県児玉郡上里町<br>模型グライダー場        | 28名             |
| F3K ラジオコントロール・<br>ハンドランチグライダー   | 平木 圭一                  | 2017. 11. 10<br>～12 | 埼玉県児玉郡上里町<br>模型グライダー場        | 22名             |

|   |                      |                                     |                            |     |
|---|----------------------|-------------------------------------|----------------------------|-----|
| F4C ラジオコントロール・スケール  | 岡本 康成                | 2017. 09. 02<br>～10. 15<br>(三箇所で実施) | 宮崎県都城市<br>群馬県太田市<br>三重県伊賀市 | 12名 |
| F4C ラジオコントロール・スタンドオフ・スケール   | 田村 基代治               |                                     |                            | 16名 |
| F5B ラジオコントロール・電動グライダー   | 小島 洋                 | 2017. 12. 09<br>～12. 10             | 千葉県野田市<br>野田市スポーツ公園        | 17名 |
| F5D ラジオコントロール・電動パイロンレーシング   | 井上 純一                | 2017. 11. 11                        | 三重県伊賀市<br>K F C飛行場         | 9名  |
| F5J ラジオコントロール・電動手曳航グライダー  | 篠原 英彰                | 2017. 06. 03<br>～04                 | 埼玉県児玉郡上里町<br>模型グライダー場      | 22名 |
| 3. ハング・パラグライディング<br>2017 パラグライディングアキュ<br>ラシー日本選手権 in 池田山<br>(FAI Category II) | 総合 和田 浩二<br>女子 平木 啓子 | 2017. 08. 25<br>～27                 | 岐阜県揖斐郡<br>池田山フライトエリア       | 50名 |
| 2017 ハンググライディング・<br>クラスV日本選手権<br>(FAI Category II)                            | 松田 隆至                | 2017. 11. 02<br>～05                 | 茨城県石岡市<br>足尾山エリア           | 11名 |
| 第29回パラグライディング<br>日本選手権<br>(FAI Category II)                                   | 不成立                  | 2017. 9. 15<br>～18                  | 茨城県足尾山エリア                  | 66名 |
| 4. マイクロライト  | パラモーター<br>島津 健一      | 2017. 9. 29<br>～10. 01              | 新潟県新潟市西蒲区<br>越前浜海水浴場       | 15名 |

## (3) 後援した競技会等

| 種 目 (名 称)                                    | 選手権者名                                     | 開 催 日                | 場 所                          | 参加数                 |
|--|---|----------------------|------------------------------|---------------------|
| 1. 熱気球<br>2017熱気球ホンダ・グランプリ                   | 総合1位<br>YAZUYA Balloon<br>Team<br>(藤田 雄大) |                      |                              |                     |
| 第1戦<br>渡良瀬バルーンレース2017                        | (宮田 浩樹)                                   | 2017.04.07<br>～09    | 栃木県栃木市藤岡町<br>渡良瀬遊水地周辺        | 31機                 |
| 第2戦<br>佐久バルーン<br>フェスティバル2017                 | (藤田 雄大)                                   | 2017.05.03<br>～05    | 長野県佐久市<br>千曲川スポーツ交流広場        | 43機                 |
| 第3戦<br>一関・平泉バルーン<br>フェスティバル2017              | (藤田 雄大)                                   | 2017.10.20<br>～22    | 岩手県一関市<br>一関水辺のプラザ           | 33機                 |
| 第4戦<br>2017佐賀インターナショナル・<br>バルーンフェスタ          | (藤田 雄大)                                   | 2017.11.01<br>～11.05 | 佐賀県佐賀市<br>嘉瀬川河川敷             | 23機                 |
| 第5戦<br>鈴鹿バルーン<br>フェスティバル2017                 | (佐藤 将史)                                   | 2017.11.24<br>～26    | 三重県鈴鹿市<br>鈴鹿川河川緑地<br>鈴鹿サーキット | 30機                 |
| 第44回 北海道バルーン<br>フェスティバル                      | ダイイチプランニング<br>(後藤 賢司)                     | 2017.08.11<br>～13    | 北海道河東郡上士幌町<br>上士幌町航空公園       | 競技機<br>36機          |
| 第42回 おぢや風船一揆                                 | バルーンスポーツ<br>クラブ東京B<br>(PLT 高島 工)          | 2018.02.24<br>～25    | 新潟県小千谷市西中会                   | 37機                 |
| 2. 滑空機 (グライダー)<br>第58回 全日本学生グライダー<br>競技選手権大会 | 個人 佐々木 昇吾<br>(早稲田大学)<br>団体 慶応義塾<br>Discus | 2018.03.12<br>～17    | 埼玉県熊谷市<br>妻沼滑空場              | 14校<br>13チーム<br>33名 |
| 第57回 全国七大学総合体育大会<br>航空の部                     | 個人 脇田 伸<br>(東北大学)<br>団体 東京大学              | 2018.02.27<br>～03.06 | 千葉県関宿町<br>NPO関宿滑空場           | 7校<br>18名           |
| 第20回 東京六大学対抗<br>グライダー競技会                     | 個人 葉山 智弘<br>(慶応義塾大学)<br>団体 慶応義塾大学         | 2017.09.03<br>～09.10 | 埼玉県熊谷市<br>妻沼滑空場              | 6校<br>26名           |

(4) 選手を派遣した世界選手権、アジア選手権 等

| 種 目 (名 称)  | 選手権者名  | 開 催 日               | 場 所                           | 参加国                   | 日本人<br>成績                              |
|--|--|---------------------|-------------------------------|-----------------------|--|
| 1. 熱気球<br>第61回 FAI GORDON BENNETT  | Vincent LEYS (FRA)   | 2017. 9. 7<br>～16   | Fribourg<br>スイス               | 13カ国<br>21機           | 19                                     |
| 2. 模型航空機<br>F1A フリーフライト<br>グライダー   | 個人 Bombek Igor<br>(CRO)<br>団体 フランス                                   | 2017. 08. 06<br>～12 | Szentes<br>ハンガリー              | 39カ国<br>113名          | 49, 112<br>団体37                        |
| F1B フリーフライト<br>ゴム動力機   | 個人 Stefanchuk Stepen<br>(UKR)<br>団体 セルビア                             |                     |                               | 41カ国<br>110名          | 18, 73<br>103<br>団体29                  |
| F1C フリーフライト<br>エンジン機   | 個人 Shvenkov Yory<br>(CAN)<br>団体 中国                                   |                     |                               | 30カ国<br>79名           | 51, 68<br>70<br>団体17                   |
| F3A ラジオコントロール<br>曲技  | 個人 音田 哲男<br>(JPN)<br>団体 アメリカ   | 2017. 11. 03<br>～11 | VillGesell<br>アルゼンチン          | 26カ国<br>63名           | 1, 13, 14<br>団体2                       |
| F3B ラジオコントロール<br>グライダー   | 個人 Bemhard Flixeder<br>(AUT)<br>団体 ドイツ                               | 2017. 08. 03<br>～12 | Jesenik-<br>Mikulovice<br>チェコ | 17カ国<br>46名<br>(Jr2名) | 20, 38<br>41<br>団体11                   |
| F3C ラジオコントロール<br>ヘリコプター  | 個人 Ennio Graber<br>(SUI)<br>団体 フランス                                  | 2017. 07. 22<br>～29 | Wlowlawek<br>ポーランド            | 15カ国<br>40名           | 2, 6, 13<br>14<br>団体3                  |
| F3D ラジオコントロール<br>パイロンレーシング   | 個人 Jiri Novotny<br>(CZE)<br>団体 オーストラリア                               | 2017. 07. 25<br>～29 | Dala-Jaena<br>スウェーデン          | 17カ国<br>45名           | 28, 37<br>団体11                         |
| F3K ラジオコントロール<br>ハンドランチグライダー   | 個人 Vincent Merlijn<br>(NED)<br>団体 ドイツ                                | 2017. 07. 23<br>～29 | Lviv<br>ウクライナ                 | 32カ国<br>87名           | 45, 70<br>75<br>団体22                   |
| 3. ハング・<br>パラグライディング<br>第21回 FAIハング<br>グライディング世界選手権<br>第14回 FAIハンググライ<br>ディング女子世界選手権<br>(クラス1) | 個人 Peter Benes (CZE)<br>女子 不成立<br>団体 イタリア                            | 2017. 08. 06<br>～20 | Brasilia<br>ブラジル              | 26カ国<br>131名          | 23, 24<br>28, 50<br>65, 115<br>団体7     |
| 第9回 FAIパラグライ<br>ディング・アキュラシー<br>世界選手権   | 個人 Tzvetan Tzolov<br>(BUL)<br>団体 中国                                  | 2017. 05. 05<br>～14 | Vlora<br>アルバニア                | 28カ国<br>147名          | 51, 90<br>103, 121<br>124, 125<br>団体12 |
| 第15回FAIパラグライディ<br>ング世界選手権  | 個人 Pierre Remy (FRA)<br>女子 Seiko Fukuoka<br>Naville (FRA)<br>団体 フランス | 2017. 7. 1<br>～15   | Monte Avena<br>イタリア           | 47カ国<br>149名          | 65, 77<br>82, 115<br>団体20              |

別表4 記録の公認等

(1) 記録の公認

1) F A I 国際記録 (F A I より認定された記録)

| 種 目  | 氏 名   | 記 録    | 飛行年月日・飛行場所                          |
|--|-------|--------|-------------------------------------|
| 模型航空機 (世界記録)<br>F 1 M室内模型<br>滞空時間<br>(天井高さ8M未満)      | 檀上 彰宏 | 18分48秒 | 2017. 07. 07<br>日本国<br>東京都太田区立総合体育館 |
| 模型航空機 (世界記録)<br>F 1 M室内模型<br>滞空時間<br>(天井高さ8M以上15M未満) | 檀上 彰宏 | 20分09秒 | 2017. 08. 06<br>日本国<br>東京都太田区立総合体育館 |

2) 日本記録 (当協会が認定した記録)

| 種 目   | 氏 名   | 記 録    | 飛行年月日・飛行場所・認定日  |
|---|-------|--------|---|
| 模型航空機<br>F 1 D室内模型<br>滞空時間<br>(天井高さ30M以上)     | 木原 一正 | 23分16秒 | 2017. 10. 22<br>日本国<br>長野県信州スカイパークやまびこドーム<br>2017. 10. 12 |
| 模型航空機<br>F 1 M室内模型<br>滞空時間<br>(天井高さ8M未満)      | 檀上 彰宏 | 18分48秒 | 2017. 07. 07<br>日本国<br>東京都太田区立総合体育館<br>2017. 10. 12       |
| 模型航空機<br>F 1 M室内模型<br>滞空時間<br>(天井高さ8M以上15M未満) | 檀上 彰宏 | 20分09秒 | 2017. 08. 06<br>日本国<br>東京都太田区立総合体育館<br>2017. 10. 12       |

\* 国際記録は平成29年度にF A I より認定された記録、日本記録は平成29年度に当協会が認定した記録を記載。

(2) F A I スポーティング・ライセンス (2017年1月1日～12月31日)

| 種 目                    | F A I スポーティング・ライセンス発行 |     |       | 有効登録者数<br>(12月31日現在) |
|------------------------|-----------------------|-----|-------|----------------------|
|                        | 新規発行                  | 更 新 | 合 計   |                      |
| 熱 気 球                  | 8                     | 1 5 | 2 3   | 7 4                  |
| 人 力 飛 行 機              | 0                     | 0   | 0     | 0                    |
| 滑 空 機                  | 1                     | 1 2 | 1 3   | 6 6                  |
| 模 型 航 空 機              | 1 4                   | 2 7 | 4 1   | 1 3 9                |
| パラシュートテイング             | 0                     | 1   | 1     | 1 4                  |
| ハンググライダー<br>(含パラグライダー) | 3 4                   | 4 1 | 7 5   | 2 5 9                |
| 超 軽 量 動 力 機            | 2                     | 1   | 3     | 6                    |
| 飛 行 機                  | 0                     | 1   | 1     | 5                    |
| その他 (Rotor craft)      | 0                     | 0   | 0     | 0                    |
| 合 計                    | 5 9                   | 9 8 | 1 5 7 | 5 6 3                |



(3) 資格証の発行数 (2017年1月1日～12月31日)

1) 滑空機

| 種 目   | 種 目               | 件 数   |
|---|-------------------|-------|
| 1. F A I 国際滑空記章<br><br>※ ( ) 内は、内数<br>平成22年4月1日より、認定証書のみ発行し、バッジは申請者の選択性とした。 | 銀 章 (※認定証のみ)      | 0 (0) |
|   | 金 章 (※認定証のみ)      | 0 (0) |
|   | ダイヤモンド距離章         | 0     |
|   | ダイヤモンド高度章         | 0     |
|   | ダイヤモンド目的地章        | 0     |
|   | 3ダイヤモンド章          | 0     |
|   | 750km章 (※認定証のみ)   | 0 (0) |
|   | 1,000km以上章        | 0     |
| 2. 飛行成績証明書<br><br>※記章発行 (単一科目達成時及び複数科目の最終項目達成時) を除く。                        | 滞 空 5時間 (5H)      | 11    |
|   | 距 離 50km (5K)     | 0     |
|   | 高 度 1,000m (1M)   | 4     |
|   | 距 離 300km (3K)    | 1     |
|   | 高 度 3,000m (3M)   | 0     |
|   | 目的地 300km (3D)    | 0     |
|   | 高 度 5,000m (5M)   | 0     |
|   | 距 離 500km (5D)    | 0     |
|   | 距 離 750km (7D)    | 0     |
|   | 距 離 1,000km (10D) | 0     |
| 距 離 1,500km (15D)   | 0                 |       |

2) 模型航空機

| 種 目                  | 種 目 | 件 数 |
|----------------------|-----|-----|
| 1. 技能証<br>R/C ヘリコプター | A級  | 7   |
|                      | B級  | 6   |
|                      | C級  | 6   |
|                      | D級  | 1   |
|                      | E級  | 1   |
| C/L 飛行機              | A級  | 1   |
|                      | B級  | 1   |
|                      | C級  | 1   |
|                      | D級  | 1   |

3) パラシューティング

| 種 目               | 種 目     | 件 数 |
|-------------------|---------|-----|
| 1. 落下傘降下士技能証      | A技能証    | 0   |
|                   | B技能証    | 0   |
|                   | C技能証(銀) | 0   |
|                   | D技能証(金) | 0   |
| 2. 国際パラシューティング技能証 | A技能証    | 0   |
|                   | B技能証    | 0   |
|                   | C技能証    | 0   |
|                   | D技能証    | 0   |

別表5 主催・後援事業

(1) 主催事業

| 名 称   | 開 催 日               | 場 所                      | 参加人数           |
|---|---------------------|--------------------------|----------------|
| 航空スポーツ教室<br>スカイ・キッズ・プログラム<br>(第38～40回)          | 2017. 08. 05<br>～06 | 東京臨海広域防災公園<br>/東京都江東区    | 1,790名         |
|   | 2017. 09. 16        | 京都市立朱雀第四小学校<br>/京都府京都市   | 63名            |
|   | 2017. 11. 11        | 安芸高田市立郷野小学校<br>/広島県安芸高田市 | 42名            |
| こども模型飛行機教室<br>(全国25箇所、参加者数1,048名)<br>*参加者数は子供のみ | 2017. 04. 09        | 高知ラジコンクラブ飛行場<br>/高知県高知市  | 7名<br>(笹泰典)    |
|   | 2017. 04. 30        | 崇城大学空港キャンパス<br>/熊本県菊池郡   | 64名<br>(渡久地政光) |
|   | 2017. 05. 20        | 渋谷区立上原小学校<br>/東京都渋谷区     | 37名<br>(吉岡靖夫)  |
|   | 2017. 05. 26        | 福島空港<br>/福島県須賀川市         | 29名<br>(渡久地政光) |
|   | 2017. 06. 11        | 千葉県立現代産業科学館<br>/千葉縣市川市   | 27名<br>(石原能行)  |
|   | 2017. 06. 12        | 添田町立添田中学校<br>/福岡県田川郡     | 32名<br>(安藤由隆)  |
|   | 2017. 07. 01        | 目黒区立鷹番小学校<br>/東京都目黒区     | 37名<br>(渡久地政光) |
|   | 2017. 07. 31        | さいたま市立大成公民館<br>/埼玉県さいたま市 | 23名<br>(渡久地政光) |

|                         |                                     |                 |
|-------------------------|-------------------------------------|-----------------|
| 2017. 08. 05            | 東京臨海広域防災公園<br>／東京都江東区               | 142名<br>(指導員のみ) |
| 2017. 08. 19            | 延岡市民体育館<br>／宮崎県延岡市                  | 51名<br>(島崎一)    |
| 2017. 08. 21            | さいたま市立桜木公民館<br>／埼玉県さいたま市            | 22名<br>(山科達雄)   |
| 2017. 09. 16            | 京都市立朱雀第四小学校<br>／京都府京都市              | 27名<br>(鷲見健次)   |
| 2017. 09. 23            | 香川県航空模型協会専用飛行場<br>／香川県高松市           | 14名<br>(吉岡嗣貴)   |
| 2017. 09. 23            | 航空科学博物館<br>／千葉県山武郡                  | 30名<br>(塙隆之)    |
| 2017. 09. 30<br>～10. 01 | 東京ビッグサイト東7ホール<br>／東京都江東区            | 67名<br>(指導員のみ)  |
| 2017. 10. 19            | 高知市立はりまや橋小学校<br>／高知県高知市             | 68名<br>(吉岡久智)   |
| 2017. 10. 21            | ホンダエアポート<br>／埼玉県比企郡                 | 58名<br>(山科達雄)   |
| 2017. 10. 22            | 妻沼滑空場<br>／埼玉県熊谷市                    | 雨天中止<br>(指導員のみ) |
| 2017. 09. 30<br>～10. 01 | 代々木公園陸上競技場<br>／東京都渋谷区               | 54名<br>(指導員のみ)  |
| 2017. 11. 11            | 安芸高田市立郷野小学校<br>／広島県安芸高田市            | 17名<br>(和田光信)   |
| 2017. 11. 11            | かかみがはら航空宇宙科学博物館前<br>臨時駐車場 ．／岐阜県各務原市 | 40名<br>(山科達雄)   |
| 2017. 11. 25            | 初台青年館&渋谷区立幡代小学校<br>／東京都渋谷区          | 33名<br>(吉岡靖夫)   |
| 2017. 11. 25            | 霞ヶ浦総合運動公園<br>／茨城県土浦市                | 116名<br>(指導員のみ) |
| 2018. 01. 13            | 千葉県立現代産業科学館<br>／千葉県市川市              | 29名<br>(石原能行)   |
| 2018. 02. 04            | 田原本町中央体育館<br>／奈良県磯城郡                | 24名<br>(山科達雄)   |

## (2) 共催事業：主催実行委員会構成団体の一員として参画

| 名 称  | 開 催 日               | 場 所                     | 備 考            |
|--|---------------------|-------------------------|----------------|
| 東日本大震災支援熱気球イベント<br>第21回「空を見上げて」IN東京        | 2017. 08. 05<br>～06 | 東京都江東区<br>東京臨海広域防災公園    | 1,790名         |
| 第23回 スカイスports<br>シンポジウム<br>(一社)日本航空宇宙学会主催 | 2017. 12. 2         | 都立産業技術高等専門学校<br>荒川キャンパス | 100名<br>(事務局含) |

## (3) 後援事業

| 名 称                                  | 開 催 日                   | 場 所                            | 備 考             |
|--------------------------------------|-------------------------|--------------------------------|-----------------|
| 第42回 二宮忠八翁飛行記念大会                     | 2017. 04. 29            | 愛媛県八幡浜市<br>市民スポーツパーク グラウンド     | 来場者数<br>1,100人  |
| 第40回 鳥人間コンテスト<br>選手権大会2017           | 2017. 07. 29<br>～30     | 滋賀県彦根市<br>松原水泳場周辺              | 来場者数<br>37,000人 |
| 2017北海道スカイスports<br>フェア イン 美唄        | 2017. 09. 03            | 北海道美唄市<br>農道離着陸場<br>「美唄スカイパーク」 | 入場者数<br>3,000人  |
| 第44回 北海道バルーン<br>フェスティバル              | 2017. 08. 11～13         | 北海道河東郡上士幌町                     | 観客数<br>21,000人  |
| 埼玉スカイスportsフェスタ2017                  | 2017. 10. 22            | 埼玉県熊谷市<br>妻沼滑空場                | 雨天中止            |
| 第31回 RC航空ページェント                      | 2017. 11. 03            | 栃木県太田市<br>尾島RCスカイポート           | 来場者数<br>32,000人 |
| 第42回 おぢや風船一揆                         | 2018. 2. 24～25          | 新潟県小千谷市西中会                     | 来場者数<br>27,000人 |
| 「みんなで大空を見上げよう！<br>プライトリンクDC-3ジャパツアー」 | 2017. 04. 29<br>～06. 06 | 熊本、神戸、福島、宮城<br>(体験飛行と航空教室)     | 参加者数<br>95人     |

## (4) 協力事業

| 名 称   | 開 催 日                           | 場 所                        | 備 考          |
|---|---------------------------------|----------------------------|--------------|
| 空まつり2017                                    | 2017. 11. 19                    | 千葉県野田市<br>野田市スポーツ公園        | 来場者数<br>500人 |
| 代々木公園50周年記念<br>イベント内プログラム<br>大空体験～日本航空発始の地～ | 2017. 10. 28<br>～29<br>※29日雨天中止 | 東京都渋谷区代々木公園<br>サッカー場・陸上競技場 | 来場者数<br>316人 |

別表6 表彰事業（協会賞・FAI賞）詳細

1. 平成29年度 日本航空協会賞 受賞者一覧

(1) 航空亀齢賞

<長年にわたり航空の発展に尽力され、且つ数え年90歳になられた方に長寿を祝福する賞>

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| あずま あきら<br>東 昭氏<br>(90歳)    | 回転翼の空気力および生物の飛行などの研究により航空に関わる学術の発展に寄与されるとともに、航空スポーツの普及に大きく貢献されました。<br>〔東京大学名誉教授<br>推薦：(公社) 日本滑空協会〕                       |
| さかもと てるお<br>坂本 昭雄氏<br>(90歳) | 航空輸送にかかわる法務部門の実務を通して航空法の発展に寄与されるとともに、後進の育成に大きく貢献されました。<br>〔元関東学院大学法学部教授<br>推薦：日本空法学会〕                                    |
| ふじわら ひろし<br>藤原 洋氏<br>(89歳)  | 航空機検査官および事故調査官の経験を踏まえて自作航空機の安全性向上に尽力され、航空スポーツの普及発展に大きく貢献されました。<br>〔元運輸省首席航空事故調査官・エクスペリメンタル航空機連盟副会長<br>推薦：エクスペリメンタル航空機連盟〕 |
| みやもと やすお<br>宮本 裕夫氏<br>(93歳) | ジェネラルアビエーションの安全性向上に尽力され、航空スポーツの普及発展に大きく貢献されました。<br>〔元(社) 日本自家用機操縦士会事務局長<br>推薦：(公社) 日本航空機操縦士協会〕                           |

(2) 航空文化賞

<航空に関する功績が顕著で、航空界が挙がって表敬を惜しまない者に贈る賞。本賞は、当協会が贈る諸賞のうち、最高位に位置する賞>

|                          |  |
|--------------------------|--|
| あずま あきら<br>東 昭氏<br>(90歳) | 深い学識に基づいて航空に関わる学術の発展に大きく寄与されるとともに、航空スポーツ全般の発展と安全性向上に尽力され、我が国における航空思想の普及に多大な貢献をされました。<br>〔東京大学名誉教授<br>推薦：エクスペリメンタル航空機連盟<br>日本模型航空連盟<br>(公社) 日本滑空協会<br>(公社) 日本ハング・パラグライディング連盟〕 |
|--------------------------|--|

(3) 航空功績賞

<航空に関する文化、科学技術および事業等の発展に著しく寄与された方またはグループに贈る賞>

|                              |  |
|------------------------------|--|
| あかし はつお<br>赤司 初男氏<br>(69歳)   | ヘリコプター事業の黎明期から安全運航と能率向上に寄与され、我が国におけるドクターヘリの普及発展に貢献されました。<br>〔元西日本空輸(株) 取締役 板付基地長<br>推薦：(一社) 全日本航空事業合会〕 |
| おちあい せいいち<br>落合 誠一氏<br>(73歳) | 航空運送法に関する理論の発展に大きく寄与されるとともに、モンテリオール条約の批准に貢献されました。<br>〔東京大学名誉教授<br>推薦：日本空法学会〕                           |
| なかまち よしゆき<br>中町 義幸氏<br>(74歳) | 航空輸送の品質向上に尽力され、航空貨物事業およびIT技術の推進により日本の航空業界の発展に大きく貢献されました。<br>〔元 全日本空輸(株) 代表取締役副社長<br>推薦：全日本空輸(株)〕       |

|                              |  |
|------------------------------|--|
| まつお のりひさ<br>松尾 則久氏<br>(69歳)  | ボーイング787などの国際共同開発事業を成功に導き、我が国の航空機産業の発展と国際的地位の向上に大きく貢献されました。<br>〔元富士重工業(株) 取締役兼専務執行役員 航空宇宙カンパニープレジデント<br>推薦：(一社)日本航空宇宙工業会〕    |
| わたなべ やすゆき<br>渡辺 康之氏<br>(70歳) | 航空エンジンの技術開発に尽力され、多くの国際共同開発事業を成功に導いて我が国の航空宇宙産業の発展と国際的地位の向上に大きく貢献されました。<br>〔元石川島播磨重工業(株) 代表取締役副社長兼副社長執行役員<br>推薦：(一社)日本航空宇宙工業会〕 |

#### (4) 航空特別賞

＜航空の発展、思想の普及啓蒙に顕著な功績があった者またはグループに贈る賞＞

|                     |   |
|---------------------|---|
| 「鳥人間コンテスト」プロジェクトチーム | 長年にわたり航空スポーツの魅力を広く社会に伝えるとともに、多くの参加者に航空宇宙関係の進路に進む契機を与えるなどして、航空思想の普及に大きく貢献されました。<br>〔推薦：エクスペリメンタル航空機連盟〕 |
|---------------------|---|

#### (5) 空の夢賞

＜航空、宇宙に対する夢や希望を与え、または明るい話題を提供するなどユニークな貢献をした者またはグループに贈る賞＞  
該当者なし

#### (6) 航空スポーツ賞

＜航空スポーツのFAI世界記録を樹立、または、同世界選手権者となった個人、グループに贈る賞＞

|                     |  |
|---------------------|--|
| だんじょうあきひろ<br>檀上 彰宏氏 | 模型航空機による滞空時間世界記録を樹立(平成28年9月23日)<br>フリーフライト室内機F1M級(117-c 天井高15m以上30m未満)<br>22分41秒 |
| いしい みつる<br>石井 満氏    | 模型航空機による滞空時間世界記録を樹立(平成28年7月5日)<br>フリーフライト室内機F1N級(118-b 天井高8m以上15m未満)<br>1分0.5秒   |

## 2. 国際航空連盟 (FAI) 賞伝達

### (1) フランク・エリング・ディプロマ

＜模型航空機を通じて航空の普及・発展に顕著な功績を成し遂げた組織あるいは個人に授与する賞＞

|                    |   |
|--------------------|---|
| やまだ しょうじ<br>山田 尚治氏 | 独自の燃料ポンプや過給、吸気システムを備えた模型航空機の曲技専用エンジンを開発し、YSブランドとして世界中の模型航空機の愛好家に高く評価されるとともに、長年に渡り日本模型航空連盟の曲技飛行審査員を務めるなど、模型航空界に貢献されました。<br>〔推薦：日本模型航空連盟〕 |
|--------------------|---|

## (2) FAI エア・スポーツ・メダル (The FAI Air Sports Medal)

<航空スポーツに関連した委員会業務、競技会運営、若年層の教育訓練等に顕著な功績や貢献があった個人又は団体に贈る賞>

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>そえじま ひろもり<br/>副島 弘壮 氏</p> | <p>日本気球連盟の副理事長やFAI国際気球委員会の日本副代表を務めるとともに、熱気球世界選手権2016年佐賀大会の競技副委員長や、その他国内外熱気球競技会で役員を務めるなど航空スポーツの普及振興に貢献されました。<br/>〔推薦：日本気球連盟〕</p>                 |
| <p>ばば たかゆき<br/>馬場 隆行 氏</p>   | <p>日本気球連盟のパイロットやインストラクター、イグザミナーの制度改革や運営に尽力されるとともに、インストラクターやイグザミナーとして後進の指導育成に努めるなど航空スポーツ普及に貢献されました。<br/>〔推薦：日本気球連盟〕</p>                          |
| <p>たぐち のぼる<br/>田口 昇 氏</p>    | <p>東海・関西地区の学生グライダーの活動支援に尽力されるとともに、大野滑空場開設などグライダーの飛行活動の環境整備や耐空検査員、教官として安全管理や後進の指導育成に努めるなど航空スポーツの普及振興に貢献されました。<br/>〔推薦：(公社) 日本滑空協会〕</p>           |
| <p>ささき いつま<br/>佐々木 逸馬 氏</p>  | <p>NPO法人日本マイクロライト航空連盟の理事や大会役員を務めるとともに、瀬峰離着陸場開設などマイクロライト航空機の飛行活動の環境整備や操縦指導者として後進の指導育成に努めるなど航空スポーツの普及振興に貢献されました。<br/>〔推薦：(NPO) 日本マイクロライト航空連盟〕</p> |